

事業名 **郷土資料デジタル化事業**

[0959]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	基本事業	文化・歴史遺産の保存と継承
----	--------------------	----	-------------------	------	---------------

部名	教育部	事業開始年度	平成23年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果		
対象	郷土資料館収蔵等映像資料	フィルム等アナログ映像資料をデジタルデータに変換する。
意図	デジタル化によって、劣化等による閲覧不可な状態を回避し、映像資料を永く後世に伝える。	手段

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	デジタル化対象資料数	点		29	0	29	
対象指標2							
活動指標1	デジタル化実施資料点数	点		29	0	11	
活動指標2							
成果指標1	デジタル化完了率(%)	%		100	0	38	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	0	243	0	217	0
正職員人件費(B)		千円	0	2,408	0	1,208	0
総事業費(A)+ (B)		千円	0	2,651	0	1,425	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 平成25年度より野幌太々神楽100周年事業で撮影した神楽の資料映像のデジタル化を実施する。この資料映像は、神楽の記録資料としてではなく、神楽を伝承する上での貴重なテキストとなることから、3ヶ年を目途にデジタル化を実施し、恒久的な保存を図る。

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			